



■ 新スタッフの紹介

8月25日、2学期初日から、1名の新スタッフが加わりました。

特別支援学級補助員の **岡田 裕之（おかだ ひろゆき）** 先生です。

小都市にお住まいの30代男性です。学校での勤務は初めてですが、夏休みにひまわり教室（基山小児童クラブ）やコスモス教室（若基小児童クラブ）での勤務経験があり、すでに顔なじみの児童もいました。

これで今年度7名予定の特別支援学級補助員の椅子がすべて埋まりました。粘り強く求人をかけて下さった町教育委員会に感謝し、いただいたスタッフをフルに活用して充実した教育活動に結び付けていきます。2学期もどうぞよろしくお願いいたします。

■ まん延防止等重点措置の中での2学期スタート ～新型コロナウイルス対策を最優先した学校運営を



8月下旬に入ると、佐賀県内の新規感染者数が3桁を超え、鳥栖・基山地区も連日陽性者が報告されるようになりました。気になるのは、小・中学生を含む若年層の罹患者が大変多くなっていること、さらに家族感染が増加していることです。そして8月27日（金）～9月12日（日）の期間、佐賀県が、まん延防止等重点措置の地域に指定されました。このところ、やや下火になっては来たものの、2学期のスタートとコロナの流行の時期が重なり、頭が痛い日々です。学校経営の最優先事項は新型コロナウイルス対策で、クラスターを発生させないように、教職員から児童への感染が出ないように細心の注意を払っております。学校における対策については、町の教育委員会と話し合いを重ね、その方針については、職員会議で全職員に確実に伝え、感染拡大防止を徹底させているところです。

普段の学習・生活からできうる感染拡大防止対策を抜かりなく行っていきます。何とぞご理解とご協力をお願いいたします。以下に概要をお示しします。

具体的な感染防止策等	
児童の対策、 家庭での対策	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>朝の検温、健康観察カードの記入</u> 家庭内感染が増加しております。9月分のカードから、「家族の症状」の欄を追加しています。児童本人だけでなく、ご家族の症状にも気を配っていただき、具合が悪い方がおられる場合は、慎重を期して児童を学校に出さない（出席停止となります）選択をお願いいたします。もし、きょうだいの1人が発熱や風邪症状で早退するときは、他のきょうだいも早退、ということになります。 ・ <u>マスク着用、ハンカチの携帯、小まめな手洗い</u> 6月頃から熱中症対策として、登下校はマスクなしでも可としておりましたが、2学期は、登下校中もマスク着用するよう指導しています。 ご家庭内でもマスクを着用するくらいの慎重さがあれば、と考えています。 学校や児童クラブでは、1日に何回も手を洗いますので、午後にはハンカチがびしょ濡れ、という実態も見られます。マスクやハンカチの予備をランドセルに入れていただくと助かります。

ご家庭での対策	<ul style="list-style-type: none"> 濃厚接触者の指定、PCR検査受検の際は、報告を児童本人やご家族が濃厚接触者に指定され、2週間程度の行動自粛をするとき、またはPCR検査を受けるときは、学校にご報告下さい。夜間・土日は（学校のコロナ休日用携帯080-4936-4221、または役場守衛室92-2011）までお願いします。検査結果が陰性のときも、確実にご連絡下さい。
学校での対策	<ul style="list-style-type: none"> 学級内の席については、横7列までとし、隣の児童との距離を確保します。 学校での授業については、基本、令和2年度の1学期のような配慮をして学習をしていきます。具体的には、少なくとも9/10（金）までは、以下の活動を一時停止します。それ以降は感染の状況を見ながら、ということになります。 <ul style="list-style-type: none"> 対面形式となるグループ活動 音読・斉読等、近距離で一斉に大きな声を出す活動 理科での近距離での実験や観察 音楽での合唱、リコーダー・鍵盤ハーモニカの楽器演奏（楽器は打楽器を中心に学習） 図工での近距離で活動する共同制作・鑑賞 家庭科での調理実習 体育での密集する運動、組み合ったり接触したりする運動 いったん濃厚接触者に指定されたり、コロナウイルス陽性者となったりすると、長期の出席停止を余儀なくされます。その際には、<u>学級の授業をタブレットPCにて配信いたします。</u>オンライン授業では一般的に、授業者が黒板に学習内容を書き、児童全体に説明を行うような学習形態のものは配信しやすく、逆にずっと絵を描いているとか、運動をしているといった活動中心の学習形態は配信しにくいかと思われます。授業を配信するときは、担任から、時間割を基に、「○曜日の□時間目と△時間目を配信します。」といった連絡がありますので、できるだけ活用していただければ幸いです。オンライン授業の可能性は、8/4の学級ミーティングで確認したところです。担任（教科担当）がご家庭等にいる児童の様子を把握できる、児童が学習内容を把握できる、学校や学級とつながった状態を感じることができる、などの利点があります。また、コロナとは別問題で、<u>登校を渋っている児童や、不登校傾向にある児童への対策としても有効かと思われます。</u>お子さんをご相談の上ぜひ担任にご一方下さい。オンライン授業については、このおたよりにて学校としての初めての正式なお誘いですが、実態としては、すでに濃厚接触者として出席停止している児童や不登校傾向の児童にオンライン授業を配信しております。画面越しにうかがう児童の表情は大変明るく、こちらもホッといたします。 佐賀県教育委員会から<u>不織布マスクをいただきました。</u>1人10個いただけます。封筒に入れ、6日月曜日に5個配布しました。第2弾が追って届くものと思われます。報道によると、不織布マスクの方が、布マスクやウレタンマスクよりもウイルスを通しにくいとの見解も示されております。強制ではありませんが、ぜひご活用下さい。
教職員の対策	<ul style="list-style-type: none"> 教職員のワクチン接種を進めています。「基山町の子供たちを守る」という基山町のご厚意もあり、たくさんの教職員が優先的にワクチン接種を受けました。大変ありがたいことです。現在、職員の約8割が2回のワクチン接種を終えたか予約済みで接種待ちかという状況です。残り約2割が体調の問題、ワクチンへの不安等で未接種ですが、粘り強く接種を勧めていきたいと思っております。 教職員にも、<u>毎日の検温と同居家族の健康観察</u>を義務付けております。万が一、教職員の家族に発熱や風邪の症状があるときは、勇気を出して休むように伝えています。学級担任が休むときには、級外職員が授業の補欠に入り、児童の学びを止めません。 <u>県境を越えての移動や、酒席・長時間の会合・大人数での会食への出席は慎むように</u>伝えています。やむをえず九州本島を出る場合は、必ず管理職へ報告させています。

また、2学期は、運動会、6年修学旅行（1～5年バス旅行）、5年宿泊体験学習、校内スケッチ会、各種児童集会など、子供たちを健やかに成長させるべくたくさんの学校行事が計画されています。これらについては行事の持つ教育的意義を十分考慮しつつ、児童の安全を確保しながら、行事で目指す目標を達成できるような工夫をして、なるべく実施する方向でいきたいと考えています。例えば…。

行 事	基本方針	具体的な感染防止策等
運動会 9/25（土） 	<ul style="list-style-type: none"> ・なるべく短時間で。 ・なるべく密の状態をつくらない。 ・大きな声を出さない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度と同じく、午前中のみで開催で昼食なし。 ・来賓なし、保護者テントなし、一家庭からは参加者2名（留守番ができない未就学児は除く）まで。 ・9/12まで練習はクラスだけで行い、複数の学年が混ざらないようにする。 ・応援合戦で声を出すのは、5・6年生のリーダーのみ。他の学年は、拍手や体の動きで表現する。 ・綱引き・玉入れなどの定番の団体競技は、学年を分散し参加する人数を減らして行う。
6年 修学旅行 10/13（水） - 14（木）	<ul style="list-style-type: none"> ・平和学習において、被爆地・長崎での学びは外せない。 ・小学校の大きな思い出として友との宿泊はさせてあげたい。 ・県外での宿泊を避ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1日目は長崎市に出向き、原爆資料館見学、被爆者の体験談、爆心地付近のフィールドワークを行う。 ・不特定多数の方々が乗車する路面電車は利用しない。貸し切りバスと徒歩での移動とする。 ・長崎での学習後、いったん貸し切りバスで県内に引き返し、嬉野市での宿泊を予定。 ・2日目は貸し切りバスで佐世保市に出向いての学習とする。
1～5年 バス旅行 10/14（木） 	<ul style="list-style-type: none"> ・行き先を佐賀県内とし、県境を越えない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・どの学年も貸し切りバスで移動し、佐賀県内での学習とする。 【行き先予定】 1・2年：どんぐり村、3年：大隈重信記念館、県立博物館・美術館、森林公園、4年：志田焼の里博物館、県立宇宙科学館、5年：マリナル呼子、玄海エネルギーパーク
5年 宿泊 体験学習 11/8（月）	<ul style="list-style-type: none"> ・県外での宿泊を避け、県内での研修とする。 ・野外炊飯は行わない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・5年生は、筑前町の夜須高原青少年自然の家に宿泊する予定だったが、現在、緊急事態宣言が出されている福岡県内に宿泊することは避ける。代わりに県内の施設を当たったが、この時期には宿泊の空きがなく、やむなく佐賀市の北山少年自然の家を利用して日帰りの研修とする。 ・宿泊はしなくても、予定していた活動はなるべく行いたい、グループでまとまって調理・会食する野外炊飯は行わない。

…のような方策を考えております。

もちろん、現時点での「案」であり、感染の状況次第では、行事そのものが中止になる場合も考えられます。そのような時は、なるべく速やかに保護者の皆様に情報提供をして、ご理解とご協力を仰いでいきたいと考えています。ワクチンの接種と、緊急事態宣言等の措置が功を奏し、安全に安心して学習活動が行える日を心待ちにしております。